

議事録

会議名	令和6年度第1回豊橋市健幸なまちづくり協議会
日時	令和7年2月19日(水) 13:30~15:00
場所	保健所・保健センター 講堂
出席者	豊橋市健幸なまちづくり協議会委員 14名
事務局	保健医療企画課、健康増進課、こども保健課、生活衛生課、食肉衛生検査所
事務局	<p>本日はお忙しい中、令和6年度第1回豊橋市健幸なまちづくり協議会にご出席いただきありがとうございます。</p> <p>本日の議事が始まるまでの進行役を務めさせていただきます。どうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>開会に先立ち当会議の事務局を代表しまして、健康部長兼保健所長からご挨拶を申し上げます。</p>
事務局	<p>本日は、大変お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。また、日頃は、本市の保健衛生行政の推進につきまして深いご理解とご協力をいただきお礼申し上げます。</p> <p>さて、本協議会は、「健幸なまちづくり条例」の附属機関に位置付けられているとともに、地域保健法第11条の規定に基づく保健所運営協議会として設置しております。地域団体、事業者及び保健医療等関係者の皆様が、相互に連携を図り、健幸なまちづくりを推進するとともに、保健所の機能強化、地域保健対策の総合的な推進を図るための場でございます。</p> <p>本日は、6年度の健康部の取り組み、また、この協議会のもとに位置付けております各部会の開催状況を報告させていただくとともに、6年度の課題を踏まえ、7年度の取り組みについても、報告させていただきます。</p> <p>議事の中で報告させていただきますが、来年度の保健所での大きな取り組みといたしまして、動物愛護センターの秋の開所、災害の備えやICTを活用した健康づくりなどを予定しております。</p> <p>地域の関係機関のご理解とご協力を得ながら進めてまいりたいと考えておりますので、日頃気になっておられることなど、忌憚のない積極的なご意見をいただけましたら幸いです。</p> <p>限られた時間の中ではございますが、本日はどうぞよろしくをお願いいたします。</p>
事務局	<p>最初に、本日机上に準備させていただきました、資料の確認をお願いします。配布資料につきましては、次第に記載のとおりです。</p> <p>不足等よろしいでしょうか。不足等あれば、お申し出くださるようお願いいたします。</p> <p>本日まで出席いただいております委員の皆様については、本来なら一人一人ご紹介させていただくところですが、時間の関係もございまして、お手元の名簿、座席表をもってご紹介にかえさせていただきます。</p> <p>本日の協議会は公開となっております。本日1名の方が傍聴されております。また、議事録につきましては、後日、各委員の皆様にご確認をいただいた上で、市のホームページに掲載していきたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。</p>

委員	<p>それでは、「協議会規則 第5条第1項」の規定に基づき、「会長が議長」となりますが、このたび豊橋市医師会役員の改選に伴い、現在、会長が不在となっております。「協議会規則 第4条第5項」の規定に基づき、本協議会副会長に会長選出までの間、議長をお願いしたいところですが、本日ご欠席のため、副会長から依頼を受け、事務局が代行したいと思います。</p> <p>議事に先立ち、「協議会規則 第4条第1項」の規定に基づき、会長及び副会長を各1人置くとあり、「協議会規則 第4条第2項」により会長は委員の互選により定めるとあります。どなたか協議会長のご推薦はありますか。</p> <p>福井医師会長を推薦します。</p>
事務局	<p>ただいま、豊橋市医師会会長 福井委員が推薦されました。皆様いかがでしょうか。</p> <p>(拍手)</p> <p>ありがとうございます。承認いただきましたので、福井委員を本協議会会長にお願いします。</p> <p>それでは、「協議会規則 第5条第1項」に基づき、協議会の議長は、原則として会長となりますので、ここからの議事の進行を福井委員にお願いしたいと思います。福井委員、どうぞよろしくお願いします。</p>
議長	<p>皆様の協力を得て会長を務めたいと思います。活発なご意見をよろしくお願いします。</p> <p>それでは、議事に入ります。次第をご覧ください。</p> <p>2 報告 (1) 令和6年度の健康部の取組み状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><b>2 報告</b></p> <p><b>(1) 令和6年度の健康部の取組み状況 資料1</b></p> <p>資料1で令和6年度の取組み状況について各課から報告させていただきます。ご意見やご質問につきましては、すべての報告が終わり次第、お願いいたします。</p> <p>それでは、まず保健医療企画課から報告いたします。</p> <p><b>【保健医療企画課】</b></p> <p><u>予防接種事業の推進</u>です。今年度男性へのHPVワクチン接種の費用助成をすすめてまいります。</p> <p><u>結核予防対策事業</u>では、豊橋市は外国人が多いことから、自国から持ち込まれる結核への対策を進めています。</p> <p><u>風しんの追加的対策 (MR 5期)</u>の実施です。先天性の風しん症候群を予防するため、妊娠を希望する女性などに加え、45歳から62歳までの男性に受検と予防接種の勧奨を実施しました。報告は以上です。</p>

事務局	<p><b>【健康増進課】</b></p> <p><u>健康なまちづくり推進事業</u>では、とよはし睡眠ウィークを設定し、健康経営応援メニューを活用し講座の開催や動画配信を行いました。また、3月15日には、筑波大学の睡眠学者の柳沢正史氏による講演を公会堂にて開催予定です。</p> <p>次に、<u>食育からはじまる食環境整備事業</u>では、市内小学校における野菜摂取量推定機器を活用した食育講座を12校に拡大するとともに、スーパーと連携し市民の野菜摂取量増加の取組みを実施しました。児童の多くは、授業実施後、野菜摂取の増加がみられ、子どもを通して、家族への波及効果もみられました。</p> <p><u>健康マイレージ推進事業</u>では、昨年度太陽生命クアオルト健康ウォーキングアワードを受賞しましたので、今年度は、本市の魅力を生かしたウォーキングコースの設置やガイドの養成を行い、次年度からのイベント開催に向けた準備を進めました。</p> <p><u>糖尿病重症化予防事業</u>では、三師会と協力し、糖尿病と歯周病の関係を市民に周知・啓発するとともに、医歯薬連携により受診勧奨等を行いました。</p> <p><u>精神保健対策の推進</u>では、第2期自殺対策計画がスタートしました。主な取組としては、市内の小学校5年生へのオンライン授業によるSOSの出し方教育の実施や教職員への対応方法の研修会や市民、企業、市の職員等、幅広くゲートキーパー研修を実施しました。また、ひきこもり実態調査では、ひきこもりの当事者や家族と民生委員・児童委員へひきこもりの要因や支援に望むこと調査を実施しました。今後対策を検討してまいります。</p> <p><u>口腔保健支援センター推進事業</u>では、昨年度策定した豊橋市歯科口腔保健推進計画第2次に基づき、ライフステージごとの取組を推進しました。歯周病検診では、対象を25歳と35歳にも拡大するとともに、未受診勧奨を20歳・30歳にも実施するなど、若い世代からかかりつけ歯科医を持つことを推進しました。</p> <p><u>疾病対策の推進</u>では、HPVワクチン接種推奨と子宮がん検診の受診向上の相乗効果を期待し、20歳～27歳のHPVワクチン接種に対して、子宮頸がん検診を無料で実施しました。HPVワクチン接種による無料受診者はおよそ100人程度の見込みです。</p> <p><u>健康な地域づくりの推進</u>では、校区の健康マップを自治会と協力し、新たに3校区作成しました。地域の健康づくりでは、体力測定等のプログラムの提供を行い、19校区、約3,100人の参加があり、地域での健康づくりを推進しました。</p> <p>以上が健康増進課の取組みになります。</p>
事務局	<p><b>【こども保健課】</b></p> <p><u>産後ケア事業の推進</u>といたしまして、必要とするすべての産婦に対して利用を促しており、令和6年より最大利用7回のうち上限5回までの利用料を半額補助し、「宿泊型」「デイサービス型」「アウトリーチ型」の利用により、産後の育児不安や疲労等に内容に応じて助産師等のスタッフが対応しております。利用者数も前年度より増加の見込みとなっております。</p> <p><u>口腔保健支援センター推進事業</u>として、ポケモンスマイルで歯磨き大作戦です。人気キャラクターポケモンを活用し、一定期間の歯みがきの実施に対</p>

	<p>してご褒美シールを渡し、歯磨き習慣の確立を目指すものです。園では今年度より新規実施し、52園が参加して取り組むことができました。また事業に合わせてオンラインによる歯みがき指導も行っています。</p> <p><u>ライブ配信による中学生向け講演の実施</u>です。学校保健委員会の中で、未来のために伝えたい「思春期のココロ・カラダ」と題しまして、対面での開催のほか、一部ライブ配信による複数校での同時開催を行いました。</p> <p><u>合同ケース会議</u>です。こども家庭センターとして、1つの家庭が抱える課題を母子保健・児童福祉の両機能からサポートし支援にあたるよう、合同ケース会議において支援方針を協議いたしました。</p> <p>報告は以上です。</p> <p><b>【生活衛生課】</b></p> <p>生活衛生課からは、食品衛生指導事業及び豊橋市動物愛護センター（仮称）整備事業について、報告させていただきます。</p> <p><u>食品衛生指導事業</u>ですが、「豊橋市食品衛生監視指導計画」に基づき、事業者に対する監視指導を実施しました。昨年度、弁当を原因とする全国規模の食中毒事件が発生したことから、今年度は、市内の中規模弁当製造施設を新たに監視指導の重点施設と定め、10施設に対する立入検査を実施しました。</p> <p>また、HACCP導入の自治体認証を行う「豊橋市ええじゃないかHACCP推進事業」を平成29年度から継続実施しており、令和6年度は食品等事業者2社に確認済証を交付しました。</p> <p><u>豊橋市動物愛護センター（仮称）整備事業</u>についてです。7月から建設工事に着手し、現在は鉄筋工事やコンクリート工事が終わり、建物の形が概ね出来上がっている状態となっております。</p> <p>また、現在、令和7年10月上旬の開所に向けた準備を行っており、開所後は施設機能を生かした取組を進めてまいります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
事務局	<p><b>【食肉衛生検査所】</b></p> <p>本市には、家畜を食肉処理すると畜場があり、株式会社東三河食肉流通センターが運営しています。</p> <p><u>と畜場 HACCP 推進事業</u>につきましては、このと畜場において生産されました牛、豚の枝肉の微生物検査、と畜場の衛生管理、食肉処理作業の現場検査を行い、食肉の安全性の確保のため、HACCPに基づく衛生的な食肉処理が行われているかを検証しました。本年度は、施設の老朽化に伴う故障やトラブルがみられ、これらの指導改善を行いました。</p> <p><u>調査研究事業</u>については、食肉安全、公衆衛生、検査技術等のさらなる向上のため、食肉検査業務と並行して、調査研究を行いました。具体的には、食肉処理工程における汚染ポイントの特定とその対策、牛の肝臓にできる膿瘍（いわゆる「膿み」）の原因と統計学的な調査、と畜場に搬入された豚からの病原菌の薬剤耐性と豚の飼育農場での抗菌性薬剤の使用と関係に関する調査研究を行い、愛知県食品衛生監視員協議会、全国食肉衛生検査所協議会、感染症学会等において発表を行い評価をいただきました。</p> <p>報告は以上です。</p>

議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>続いて、(2) 令和6年度の各部会の実施状況について事務局から説明をお願いします。</p> <p><b>2 報告</b> <b>(2) 令和6年度の各部会の取組みについて 資料2</b></p>
事務局	<p>協議会規則の第6条に基づいて分野別に8部会あります。</p> <p>令和6年度の各部会の実施状況を資料2に基づいて、各課から報告させていただきます。</p> <p><b>【健康づくり部会】</b></p> <p>健康とよはし推進計画を昨年度策定しました。第3次計画では、ライフステージ毎で区切って健康づくりを考えるのではなく、胎児期から高齢期に至るまでの生涯を経時的に捉えた健康づくりの視点をもって推進していくということで、目標達成に向けて、健康づくりをすすめるための社会環境の向上にむけ取組みについてご意見をいただきました。</p> <p>朝食の欠食は、経済的な格差が関係している事、運動や睡眠時間の減少については、スマートフォンの普及や、身体を動かさないことでお腹が減らない事につながり、こどもの低栄養や痩せにつながるという運動と食のサイクルなどについてご意見をいただきました。また、歯周病について、検診の受診率が上がらないので啓発をすすめていくこと、歯科医院をうまく活用してクリーニングを受けることの効果の周知が必要などの意見をいただきました。</p> <p>部会委員から評価を頂いた点として、こどもの支援が一貫して実施されていたこと、健康宣言事業所をすすめていく中で、積極的に取り組んでいただいている企業が沢山あるのは評価されていました。</p> <p>一方で、核家族化が進む中で、お互いに声をかけられるような環境があるといいとの意見もいただきました。</p> <p>デジタル化、ICT化、DX化とあるが、具体的な計画はあるのか、どのように評価をしたら良いかについてもご意見をいただきました。</p> <p>今後は、少子高齢化という人口の社会構図が大きく変化し、そのスピードも速く進んでいくと思います。計画の進捗については、タイムリーに評価し、その時々でご意見いただく必要があると思っています。計画推進の方向性と時代の変化を見ながらすすめていきたいと思っています。</p> <p>保健医療企画課からは以上です。</p>
事務局	<p><b>【歯科保健推進部会】</b></p> <p>11月に開催しております。昨年度策定しました豊橋市歯科口腔保健推進計画(第2次)に基づく今後の歯科保健の推進、2歳児歯科健康診査、25歳・35歳の歯周病検診、豊橋市口腔保健支援センターの調査研修事業について、ご意見をいただきました。</p> <p>豊橋市歯科口腔保健推進計画(第2次)に基づく今後の歯科保健の推進では、上半期におけるライフステージごとの取組み内容の課題について、2歳歯科健康診査では、平成30年度以降、受診率が年々減少傾向にある本事業の在り方について、25歳・35歳の歯周病検診では、受診者が少ない状況</p>

に対し、先行する他市の状況を参考にするとともに、若い時から、かかりつけ歯科医師をもち定期的な受診につながるよう周知・啓発していくことについて、それぞれ検討されました。

#### 【精神保健福祉推進部会】

9月と2月に開催しております。9月の部会では、自殺の現状や第2期豊橋市自殺対策計画の推進について、自殺者が多い30～50代の有職者へのメンタルヘルス対策の重要性についてご意見をいただいたことから、引き続き企業へゲートキーパー研修の実施、企業の管理部門への働きかけを行うなど、働く方へのメンタルヘルス対策の周知等をさらに行うほか、包括的な取り組みの必要性についてもご意見をいただきましたので、連携体制などを検討しながら取り組みを進めてまいります。

また、ひきこもりの実態調査のアンケートについてご意見をいただき、調査に反映しました。

2月の部会では、ひきこもり実態調査の報告を行いました。委員から、ひきこもりは個人の問題ではなく社会の在り方の問題であり、複合的な問題が複雑に絡みあっている現状や、ひきこもりの支援は早期の介入が必要であること、状況を変化させるためには時間がかかること、などを理解したうえで、相談体制を整えていく必要がある、などのご意見をいただきました。

いただいたご意見や実態調査の結果を踏まえ、今後のひきこもり施策を検討してまいります。

健康増進課からは以上です。

#### 【母子保健推進部会】

今年度2回開催をしております。1回目はプレコンセプションケアの現状と課題について協議いたしました。

プレコンセプションケアとは、若い男女が将来のライフプランを考えて、日常生活や健康と向き合うことです。委員の皆様からは保育現場におけるこどものプライベートゾーンの理解と配慮について報告をいただきました。また、性情報などは情報源がスマホに偏っている現状を共有し、多くの情報の中から正しい知識を得て自分のものにしていくことの重要性を再認識することができました。学校現場等においてはWEBやライブ配信をさらに活用し、拡大していけると良いことを確認いたしました。

今後の方向性として、幼少期から自分を大切にできる環境や、性に限定することなく若い世代から将来を見据え健康づくりができるよう関係機関と連携していきたいと考えています。

2回目は小児慢性特定疾病児童等の就園・就学について協議しました。小児慢性特定疾病児の就園・就学においては大変親御さんの不安が大きく、見通しガイドにより見通しが持てると良いとのご意見をいただいております。ただし、施設により児の受け入れ状況が異なるため、見通しガイドに加え関係機関の連携と個別案内の必要性について確認いたしました。今後は小児慢性特定疾病新規・更新時の配布に向け、ガイドの作成に取り組んでまいります。

こども保健課からの報告は以上です。

事務局

事務局	<p><b>【生活衛生部会】</b></p> <p>10月7日に豊橋市獣医師会の河合会長はじめ、自治連合会、動物愛護団体の皆様に豊橋市動物愛護管理推進計画の総括（案）及び豊橋市動物愛護センター（仮称）での取組み（案）について、ご審議いただきました。</p> <p>動物愛護管理推進計画の総括（案）につきましては、計画策定当初におきましての大きな課題でありました動物愛護センターの整備が順調に進む運びとなったことから、令和6年3月末の計画期間満了をもって本計画は終了すること、今後は、愛知県が法令に基づき策定している動物愛護管理推進計画により、引き続き取り組んでいくことを説明し、ご理解をいただきました。</p> <p>また、豊橋市動物愛護センター（仮称）での取組（案）では、「市民ボランティアと連携した取組みに期待したい。」「市民の動物愛護への理解を深める取組に期待したい」などのご意見をいただきました。</p> <p>今後は、いただいたご意見を踏まえ、市民に親しまれる動物愛護センターの整備と、取組みを進めてまいりたいと考えております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
議長	<p>すべての課の報告が終わりましたので、みなさまから質問や意見がありませんでしょうか。</p>
委員	<p>保健医療企画課の男性へのHPVの接種費用ですが、男性にHPVのワクチンを接種することで、子宮頸がんが減るのですか。</p>
事務局	<p>子宮頸がんは、性交渉でウイルスがうつるので、女性も当然大事なのですが、男性もすすめていきたいと考えています。</p>
委員	<p>事業概要の書き方として適切ではないかなと思います。子宮頸がんは女性の病気であり、男性は子宮を持っていないので、間接的に予防につながるかもしれないですが、直接ではないので、「子宮頸がん」という表現は違和感を覚えます。もし可能であれば検討していただきたいです。</p>
事務局	<p>いただいた意見について、名称等検討していきます。</p>
議長	<p>他にございませんでしょうか。</p> <p>特にないようでしたら、次の議題に移ります。</p> <p>3 協議（1）令和7年度の健康部の取組みについて事務局から説明をお願いします。</p> <p><b>3 協議</b></p> <p><b>令和7年度の健康部の取組みについて 資料3</b></p>
事務局	<p>資料3 令和7年度の健康部の取組みについて各課から報告させていただきます。ご意見やご質問につきましては、終わり次第、お願いいたします。まず保健医療企画課から報告いたします。</p>

事務局

### 【保健医療企画課】

新型インフルエンザ等行動計画の改訂です。新型コロナウイルス感染症対応を経て全面的に改訂が必要ということで、現在愛知県が改訂を進めています。来年度は市町村が策定することになっています。

災害時の避難所における衛生環境の整備については、昨今の震災を経験する中で、災害弱者に対し、生命の安全を確保しなければならないという考えが大きくなってきました。そこで、避難所における生活環境を改善するために、段ボールベットを福祉避難所に配備していきたいと考えています。また、避難所自体の衛生環境を整えるために、ノウハウを伝えられる衛生リーダーの人材育成についても取り組んでいきたいと思ひます。

带状疱疹予防接種事業についてです。带状疱疹とは、水痘・带状疱疹ウイルスが活性化する事によって、高齢者を中心に発症し神経痛などを引き起こします。带状疱疹予防接種が来年度から定期化されます。定期予防接種対象者へ個別に通知を考えています。4月からスタートしますが、接種できるのは7月頃と考えています。

HPV ワクチンキャッチアップ接種事業ですが、HPV ワクチンキャッチアップ接種対象者の未完了者について、来年度も国がキャッチアップ接種事業を継続するため、本市でも引き続き実施していきたいと思ひます。

保健所・保健センターフリーオープンスペース特定天井改修工事ですが、天井6m超の高さにある200㎡超の吊り天井は、防災上補強しなければならないという全庁的な流れの中ですすめていきたいです。

HIV 検査抗体検査事業は、今までは予約を電話（匿名）で受けていたが、WEBで受けられるように変えていきたいと思ひています。

### 【健康増進課】

禁煙支援の推進では、若い世代に対して、大学や専門学校の食堂などに啓発教材を設置し、喫煙による健康問題等の知識を啓発していきます。

疾病対策の推進です。がん検診、生活習慣病予防検診、特定健診では、同時の検診日を設け、受診しやすい体制を引き続き進めてまいります。

特定健康診査・特定保健指導実施率向上において、他の疾患等で、医療機関を受診はしているものの、特定健康診査は未受診の方に対して、受診勧奨を進めていきます。特定保健指導では、受講率向上のため、若い世代をターゲットとしてICTを活用し、受講しやすい体制を整えていきます。

働き盛り世代への歯周病予防対策の強化では、働き盛り世代への歯周病予防対策として、健康とよはし宣言事業所に対して歯と口の健康に関する講話を行うほか、簡易検査キットによる歯周病罹患チェックを行い、かかりつけ歯科医を持つ動機付けを行ってまいります。

精神保健対策の推進では、ゲートキーパー研修の拡充など、第2期自殺対策計画に基づく自殺対策を引き続き推進してまいります。また、ひきこもり支援では、令和6年度に実施しました実態調査をもとに、今後の支援体制について検討を進めてまいります。

企業向け運動習慣化促進事業では、市内事業所にスマートウォッチ等を活用したヘルスデータの管理を行う健康プログラムを提供してまいります。

とよはしクアオルト健康ウォーキングでは、愛知健康プラスを活用したイベントを定期開催し、ウォーキングの効果検証を踏まえた健康経営事業のメ

事務局	<p>ニュー化等を行います。</p> <p><u>食改サポーター養成プロジェクト</u>では、食生活改善推進員の減少に伴う活動の縮小の対策として、大学生を対象に食生活改善推進員のサポーターを養成し、地域において食生活改善推進員とともに、食生活の改善に向けた活動を行っていきます。</p> <p><u>健康な地域づくり事業</u>では、今年度まで自治会を対象として活動支援を行ってきたものを、自治会内のグループなど、コンパクトな単位での参加も可能とし、健康づくりに取り組みやすい環境を整えてまいります。</p> <p>健康増進課からは以上です。</p> <p><b>【こども保健課】</b></p> <p><u>産後ケア事業</u>につきましては年々事業の拡充を図っており、半額負担を行っている利用上限を5回から7回に拡大し、産後の不安や疲労等が解消できるようユニバーサルな利用促進に努めてまいります。</p> <p><u>生殖補助医療費の拡充</u>につきましては 不妊治療を受ける夫婦等の経済的負担を軽減するため、対象となる治療についても拡充し、治療2回目以降の自己負担額に対する助成を開始します。また、上限回数も初回のみであったものが3回～6回に拡充し、子どもを産み育てたいと希望する夫婦等を継続的に支援します。</p> <p>報告は以上です。</p>
事務局	<p><b>【生活衛生課】</b></p> <p><u>豊橋市動物愛護センター（仮称）整備事業</u>です。令和7年10月上旬の開所に向けた準備を進めるとともに、センター内の「猫モデルルーム」にネーミングライツパートナーを募集します。加えて、施設全体の愛称についても公募します。開所後は、収容した犬や猫の不妊去勢手術を新たに実施するほか、定期的な譲渡会を開催するなど、動物の命をつなぐ取組の拡大を図ります。加えて、子供に向けた動物愛護への学習機会の充実を図る取組や広く市民に向けた動物愛護の意識向上を図る取組を進めてまいります。</p> <p><u>食品衛生指導事業</u>ですが、豊橋市食品衛生監視指導計画に基づく監視指導に加え、豊橋市ええじゃないか HACCP 推進事業による支援を引き続き行い、衛生管理水準の向上及び食品の安全確保に努めてまいります。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
事務局	<p><b>【食肉衛生検査所】</b></p> <p><u>と畜場 HACCP 推進事業</u>です。令和7年度につきましては、本年度と同様ですが、食肉の安全確保、公衆衛生の向上のため、引き続き、東三河食肉流通センターが実施する HACCP に基づく衛生管理の実施状況の検証と指導を実施するとともに、<u>調査研究事業</u>をさらに充実させていきたいと思っております。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>皆様から質問、ご意見何かありましたらお願いします。</p>

委員	<p>災害時の避難所における衛生環境の整備に関して、移動式のトイレを多く備えておいていただきたいです。下痢など、衛生環境の悪いトイレからの感染が広がるので、備えをお願いしたいです。</p> <p>また、HIVの抗体検査について、WEBで予約できることは凄く重要ですが、それがあつことを知らせるためのポップを夜間の繁華街のトイレに貼るなど、利用者の促進をはかつていただきたいです。</p> <p>禁煙支援推進について、本学では若い世代の喫煙者は減つてきています。大学の食堂でやることになっていますが、現在大学も色々工事を行つていますが、その工事関係者が吸つている方が多いです。対象とする世代を変える、喫煙利用者が多い場所(コンビニの喫煙所や遊戯場である豊橋競輪所等の喫煙所)での啓発を検討していただくと、禁煙が推進されるのではないかと思つています。</p> <p>産後ケア事業ですが、産後ケアを必要とされているのは女性だけではなく、サポートしている男性側もかなり辛い思つをしている方があると思つています。母親にどう配慮して良いか分からず、母親からイライラをぶつけられて困つてしまう現状もあると思つています。母子への支援だけではなく、もう少し幅広くサポートしていける体制を取つて頂けると良いと思つています。</p>
事務局	<p>水の確保とトイレの衛生や確保は大事だと思つています。</p> <p>HIV検査については、世代や対象に応じた啓発方法を選択していかないといけないと思つているので参考にさせていただきます。</p>
事務局	<p>若い世代の喫煙率は下がつてきていると思つていますが、若い世代にも禁煙推進をしていきたいと思つています。また、現在喫煙している世代にも引き続き禁煙支援する中で、参考にさせていただきます。</p> <p>ご意見ありがとうございます。</p>
事務局	<p>産後ケアについてご意見ありがとうございます。男性の産後うつが問題になってきています。赤ちゃん訪問をする際に、男性の不安を受け止めてくるケースも増えています。国も男性の産後うつに対してガイドラインをだしていくようなので、それを見ながら男性に対しても対応していきたいと思つています。ご意見ありがとうございます。</p>
議長	<p>産後ケアに関しては、ある医療機関が特化した施設を作りましたが、運営、経営状況が厳しいそうです。サポートをお願いします。</p>
委員	<p>災害時の衛生環境の整備ですが、能登でも避難所で薬剤師の活動がありました。またよろしくをお願いします。</p> <p>帯状疱疹の定期接種化ですが、これはすでにどこかで別の市町村でもやつているのですか。</p> <p>定期化は1回だけですか。無料ですか。今までもありましたよね。何が違うのでしょうか。</p>
事務局	<p>定期化は来年度から一斉になります。65歳の1回だけです。無料ではありません。今までも帯状疱疹の予防接種は任意接種としてありました。来年度、予防接種法において、努力義務から格上げし定期接種になります。今までの</p>

	<p>方法は、自分で手を挙げて接種券を発行されていたが、今後は対象になる方全員に市から発券するという違いがあります。</p> <p>健康被害については、定期接種になると、国が給付や認定も全部やることになっています。</p>
議長	負担がある人となない人と金額違いますよね。
事務局	課税世帯、非課税世帯で金額が違います。
議長	他の方はいかがでしょうか。
委員	食改サポーターの養成はとても興味深いです。大学生を対象に養成するのですか。この内容は大学生だけでなく、他の方にもお知らせしたい内容だと思いました。食生活というよりも栄養バランスが大切という重要なテーマだと思います。大学生を対象とした意味を教えてくださいませんか。
事務局	食生活改善推進委員が少ない状況があります。広いターゲットで募集をしていますが、それでも年に2人程度の養成者であり、少ない状況です。そこで今回は、ターゲットを大学生と絞らせて頂いて、集中的にサポーターとして大学生を養成していきたいという考えです。そこから広がってほしいと思います。
委員	対象の大学生は、栄養関係を専攻している学生を対象とするのですか。
事務局	大学生であれば、専攻科目は特に指定していません。
議長	他には何かご意見ありますか。 自治連合会の鈴木様、何かご意見ご質問ありますか。
委員	自治連合会は70歳代以上のメンバーです。スマホを使ってなんとか情報活用しています。今の中学生、高校生はYouTubeをテレビよりも見ていると思います。YouTubeを利用した情報発信など、企画検討はありますか？
事務局	YouTubeには、弊害がある一方で、周知するには重要なツールだと考えています。世代を超えてSNSに親しみが出てきていますので、啓発方法もシフトしていきたいと考えています。
委員	それは、ホームページ等で展開するという事ですか。
事務局	ホームページでの展開も一つの方法だと考えています。現在、豊橋市も、色んなアプリ(Xやインスタグラム)を使って情報発信しています。アプリ等の活用も検討していきたいと考えています。

議長	老人クラブ連合会としては何かご意見ご質問ありますでしょうか。
委員	スマホについて、中々操作が難しくて、思うように使えないですが、勉強会などを開催しています。
議長	病院の診察室でも、高齢者がスマホを出して、予定や血圧等みながら話される方もみえます。徐々にスマホも使いやすくなっているのではと思います。 小中学校長会としてはご意見やご質問いかがですか。
委員	小学校でも、メディアコントロールができない子どもが多く、学校でメディアの使い方など指導をしています。自宅に帰ってからも、大人を含めてコントロールできる生活が送れると良い睡眠にもつながると思っており、良い方法がないかと模索しているので、何かアイデアがあればよろしく願います。 ベジチェックは、昨年度、2つの小学校で実践させて頂きました。家庭科の先生方が集まる会議に貸してもらって試してみて、野菜が摂取できているかを数値で見ることができて参考になったので、市民の方にも提供できると良いと思いました。
事務局	睡眠については、具体的なことになるので、また相談いただければ対応していきたいと思います。 ベジチェックはこれからも拡げていきたいと考えています。今年度、スーパー等でも掲示していきたいと考えています。
議長	他にご意見ご質問はいかがでしょう。
委員	健幸なまちづくり協議会の「けんこう」は、「健やか」と「幸せ」と書きます。健康部の方々が担っているため、「Health」が主になると思いますが、市民の生きがいや希望についての施策、計画がほとんどないように思います。健康部で全てというのは難しいと重々理解していますが、せっかく健幸なまちづくりと掲げられていますので、「幸」に関する施策もあるといいなと思います。何かそういう計画があれば教えてください。
事務局	健幸なまちづくりとして、推進計画を立てて12年間実走させていきます。健康は社会生活を営む上で基本になります。健康とよはし推進計画を健康部だけで取り組むのは難しいため、多くの部署と連携しています。社会変化のスピードが早いため、計画の推進に合わせて評価し、方向転換も合わせて行いたいと思います。漠然とした言い方になりますが、貴重なご意見だと思しますので、今後すすめさせていただきますと思っています。
委員	病院に身を置いているので、診療が中心となります。行政は幅広くて大変だと感じました。2年位前はコロナに対するその対策が多かったですね。一方で、今日の内容で、例えばこどものことひとつとっても、深刻さは数字が

	<p>ないので分かりにくい。こどもの低栄養やひきこもりの話もありました。その中で対処が必要なセーフティーネット系の課題を共有するのか、喫煙の課題をやるのか？また、健診のような健康増進の内容にするのか？せっかくこの会に沢山の方が集まっているので、何がいいのでしょうか。</p> <p>災害でも他の部局と連携していると思いますが、避難所というのは本当に過酷な状況になります。やるべきことは沢山あると思いますが、トイレが優先的な話なものも分かります。ですので、部会をやる中で、深刻さが伝わる何か、メッセージや数字を含めて頂けるといいと思いました</p>
事務局	<p>災害は、普段の生活が当たりまえでなくなった時にどうやって生活できるかです。保健所の保健医療衛生班が活動する予定ですが、避難所の運営は避難者の方々自身が普段の知恵を絞って進めていくことになると思います。衛生環境については伝えていけないといけないと考えています。</p> <p>深刻なものを数字で見られると具体的にイメージしやすいとの事なので、データや考え方をわかりやすくお示しできるようにしていきたいと思います。ご意見ありがとうございました。</p>
議長	<p>確かに、自殺の数、引きこもりの数とか、日本の中で豊橋はどうかとか分かれるといいですね。どういう場合だと幸せなまちといえるのかですね。教育委員会に入っている医師が、ひきこもりでは、授業を受けなくてもいいから、とにかく学校に来させることが大事と言ってみえました。また、ひきこもりだった子が豊橋高校に行って、答辞を読む子もいたと聞きました。すごいなと思いました。色々みなさん取組されていると思います。具体的な事例や数がなく、深刻さが伝わらないですね。</p> <p>他にご意見ありますでしょうか。</p>
委員	<p>災害時、避難所での人に対する衛生面や要望は多く取り上げられました。熊本地震以降、ペット防災も注目されています。帯同避難だけでなく、車で避難生活を送る方も多いです。車中で大型犬やペットと過ごします。避難所での共同生活では、動物が好きな人ばかりじゃないので、大きな駐車場を活用するなど、ペットと一緒に避難している方とのエリア分けをするなどしてほしいです。保健所に要望してきましたが、新たに動物愛護センターが中核になると思います。屋外にケージを用意という対策もありますが、寒い季節や暑い季節は、屋外でゲージ生活は動物にも厳しいので、車中で快適に生活させようと飼い主が行動することは十分考えられます。頭の片隅にでも、ペットを連れての避難生活の対応策を考えて企画して欲しいです。よろしくお願いします</p>
事務局	<p>ペット防災は、非常に大事だと思っています。昨年6月の大雨の避難の際、ペットの防災施策は大きな課題になり、現在、防災危機管理課と共にペット防災の取組みをしています。具体的には各校区の防災訓練に赴いて、ペットの同行避難の啓発を実施しています。また、市民にペットを飼っている人は連れてきて頂いて、ペットを飼っている方も、飼っていない方もより良く避難生活を送れるかシミュレーションをしています。先日の日曜日にも、防災リーダーが集まり、ペット防災についての講話と同行避難訓練を実施しました。各リーダーにも体験をしていただきながら、各校区に戻って課題等を共</p>

議長	<p>有していただくという取り組みをしています。来年度、動物愛護センターが開設するので、今後も、獣医師会のお力も借りながら、ペット防災の取り組みをすすめていきたいと思っています。</p> <p>他にご意見ありますでしょうか。</p>
事務局	<p>先程頂いたご意見の中で、コメントさせてください。</p> <p>自殺は、数値も含めて様々な報告をしています。</p> <p>健康部だけで実態を把握しているわけではありません。様々な要因があるので、各関係機関と連携含めて庁内で取り組んでいます。</p> <p>子どもたちが困った時に SOS が出せるよう、教育部と連携して SOS の出し方教育をやっています。</p> <p>健康部だけでやっていく取組は少なくなっていますので、ご意見をもらい、様々なところで連携して地域やひきこもりの把握をしています。</p> <p>各委員におかれましても、仕事上などで関係する課もあると思いますので、そちらでもご意見をあげていただき、健康部で取り組めるところは対応していきたいと思っています。是非、皆様の意見を発信して頂きたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>全体でご意見ありましたらお願いします。</p> <p>他にご意見がないようでしたら、これにて全て終了となります。</p> <p>皆様のご協力により会議が円滑に進みましたことをお礼申し上げます。</p> <p>これをもちまして議長の任務を終わらせていただきます。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日は長時間にわたり貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。本日の皆様からいただきましたご意見は、今後の本市の保健衛生業務及び健幸なまちづくりの推進に十分生かしてまいりたいと考えています。</p> <p>これを持ちまして、協議会を終了いたします。ありがとうございました。</p>